

デジカメの写真

デジカメ(デジタルカメラ)で撮る写真は、フィルムカメラの写真と、どういう点で違っているでしょうか。

1. 撮った写真を、その場で確認できる。
2. 失敗を恐れず、何度でもシャッターを切れる。
3. プリンタを使って、印刷することができる。
4. 大判プリンタで印刷したり、提示装置(プロジェクタなど)を使って、すぐに大きく見せることができる。
5. いろいろな(画像としての)加工が簡単にできる。
6. 文書に組み込む(挿入する)ことができる。
7. 劣化させずに保存することができる。
8. 保存に場所を取らない。
9. 電気(カメラやコンピュータといった電子機器)がないと見ることができない。

などが、主な違いですね。

中で、9. だけは、デメリットと言っていいでしょうけれど、だいたいはフィルムカメラの写真よりいい点が多いように思われます。逆に、これらの特徴をメリットとして活用できれば、デジカメを使う意味があるわけです。

3. 以降は、デジタル写真としての特徴ですから、フィルムカメラの写真も、スキャナなどでデジタル化すれば、同じ特徴を持たせることができます。

これら、メリットであるはずの特徴が、使い方によって、デメリットになることがあります。

印刷はできますが、写真としては、写真屋さんの写真に軍配が上がりますし、長期保存には向きません。つまり、何のための印刷かを考えなくてはいけない、ということです。

加工できる、ということは、ありのままではない、ウソも作れる、とも解釈できますし、知らないうちに元の写真と違うものになっていることもあります。写真、というのは、「真(まこと)を写す」と書くわけで、加工したものはもう「写真」とは言えません。

個人的には、デジタルカメラは、カメラという名前を持っていますが、フィルムカメラとは使い道が異なり、別の道具だと思えます。また、デジカメの写真は印刷するものではなく、加工したりデジタルデータのまま(メールやホームページなどで)見せるものだと思っています。デジカメがどれほど進化しても、この考えはずっと変わらないと思うのですが、いかがでしょうか。